

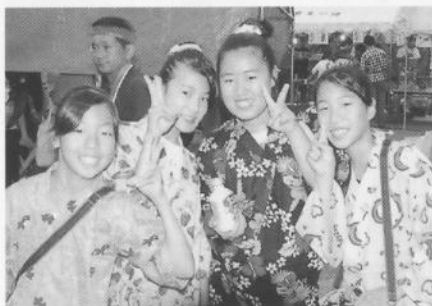
少連協ニュース

発行所/足立区少年団体連合協議会
 〒123-0842 東京都足立区栗原1-3-1 ギャラクシティ内
 足立区青少年センター 青少年事業係
 TEL 03-5242-8169 <http://www.a-shorenkyo.jp>

発行人 野辺 陽子
 編集 調査広報部
 岩澤 小野田 鈴木 高澤
 高橋 田中 堀内 山本



笑顔いっぱいの 子どもたち



足立区
少年団体連合協議会会長 野辺 陽子

青い地球を守るには

足立区温暖化防止会議がこの三月に設立された。その実行委員ということで私も参加させていただくことになった。もともと自分自身も、エコ系には大きな関心を持ち、実行もしている人間なので、足立区のこの取り組みには大いに興味がある。

いつも思っていることの中に、会議の書類の入ったA3の封筒の使い方があった。役所や学校では一枚の封筒を、表に別の紙を貼って何十回も使っているようだ。毎回もったいなさうな思いながらいただいていたが、そうそう再利用もできず、家庭内のいくつものゴミ箱の中袋としてゴミと共に出しているのが現状であった。最近は一重にお返しして、自分のクリアファイルに入れて持ち帰ることにしている。

子ども会の活動の中にも温暖化防止に逆行するものがある。模擬店の発泡スチロールの容器は便利だが、終わった後の割箸やトレーの山にはやり切れない思いが残る。手間がかかるし、衛生面で不安もあるが、一回ずつ容器を洗って使ってみてはどうだろう。やってやれないことはないと思う。

今からでも遅くはない。めんどくさいを捨てて、これからの人々に美しい環境を残してあげたい。

今年も庭には元気な緑の葉が広がっている。台所のゴミから生まれた野菜達の――。

一一〇〇九年 少連協新年会開催

子どもたちに夢と希望を！ 輝く新春に集う

平成二十一年一月十五日(木)午後六時三十分、足立区庁舎四階ピカールにて足立区少年団体連合協議会新年会が開催された。

新春の幕開けは田中敏明副会長の開会挨拶で始まり、参加者数は一三三名と年々増加している。

初めに区歌「わがまち足立」を馬場信夫(スポーツ少年団団長)、小野田みよ子(舎人地少協会長)の二人のリードで足立区民の誇りを胸に斉唱。会場一杯に力強い歌声が響き渡った。

主催者、野辺陽子会長の年頭挨拶は子どもたちの夢を大きく育み、



馬場信夫・小野田みよ子氏のリードで区歌斉唱



野辺陽子会長の年頭挨拶

希望に満ちた幸せな一年であることをせつに願い、その環境を創るのは大人の責任と訴えた。そして、それぞれの立場で最善を尽くしてほしいとのメッセージがあった。

主賓にお迎えした近藤やよい区長は、少連協のボランティア貢献に謝意を表明され、足立区の将来を担う子どもたちを重視し、二〇〇九年度の予算執行に子育て・子どもたちの健全育成を重点に盛り込んだ施策を具現化したいと、少連協の運営活動に大いに期待をよせてご挨拶を結んだ。



近藤やよい区長のご挨拶

足立区議会を代表してくじらい光治議長は、少連協へよせる期待と、支援を一層努力することが明快に語られた。行政・議会ともに足立区の子どもたちに向かい合う意欲が感じられた。

第一部の司会、山崎副会長から鈴木総務部長へ第二部が引き継がれ、齋藤幸枝教育長の乾杯発声で新春の集いは一気に和んだ。

小中の校長会長・PTA連合会会長・健全育成団体の各代表を紹介。新年懇親会の集いは佳境のなか、例年、期待されるビンゴゲームが開始。童心に返り、全員が賞品を引当て、笑いの渦で盛り上がった。フィナーレは「青い山脈」の合唱。リズムとともに手を結び、大きな環が広がり、少連協の連帯と連携は子どもたちの未来を紡ぐいはずえとして着実に進展がうかが



齋藤幸枝教育長により乾杯



ビンゴゲームで会長より賞品を手渡される会員



手をつないで「青い山脈」を合唱

えた。盛会の中、子ども会のさらなる発展を誓って終了した。

広島での第42回全国子ども会 育成中央会議・研究大会

足立区青少年センター青少年教育担当 村上 長彦

平成二十一年二月十三日(金)

から十五日(日)の三日間、広島市において第42回全国子ども会育成中央会議・研究大会が開催されました。少連協からは、野辺会長、岩澤副会長、山崎副会長、山本副会長が参加しました。

今回の中央会議・研究大会は、一千万人の「子ども会運動」を展開しよう! という大テーマの下、子ども会の「制度化」「組織化」「空間化」「生活化(日常化)」を運動理念の核として、課題とテーマが決められ、研究協議が進められました。

☆第一日目☆

第一日目は、子ども会活動に功績のあった団体や個人の表彰に続き、全国子ども会連合会(全子連)の活動方針について全子連山中会長から「一千万人の「子ども会運動」を展開しよう!」というメッセージが発表されました。

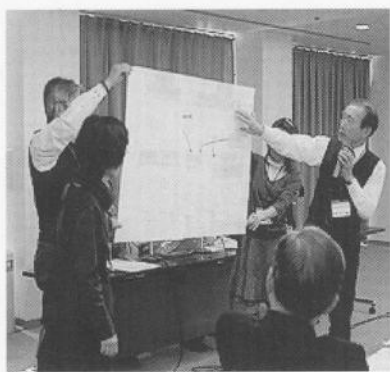
続いて、広島市子ども会連合会で行っている継続的な活動事例の紹介がありました。一つは、八月六日の広島原爆の日に捧げられた献花が夏の暑さですぐにしおれてしまうため、この献花を集め、清掃すること、平和学習を併せた活動を八月八日の子ども会の日に行っている事例です。もう一つは、平成十七年十一月に起きた児童の殺害事件をきっかけに、子どもを地域全体で守っていこうという子ども会育成会での「子どもの見守り活動」の事例です。

☆第二日目☆

第二日目は、午前九時半から午後三時までの長時間にわたって、



全体会の様子



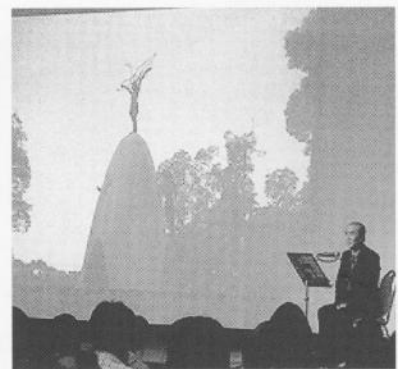
分科会の様子

六つの分科会と各都道府県の専門委員の会議、子ども会安全会に関する事務協議が行われました。分科会は「子ども会像」「子ども会活動の推進」「育成者と指導者」「居場所の確保」「活動の日常化」「モデルプログラム体験」をテーマに話し合いが行われました。ここ数年は、午前と午後で分科会を分けて実施されてきましたが、今回は時間をかけてじっくりと話し合いが行われました。昼食をはさんで四時間を越える長丁場の分科会でした。私は「育成者と指導者」の担当として導入の話と協議の進行役を務めましたが、例年以上に熱心に取り組まれ、皆さん最後まで話し合いに参加していました。

☆第三日目☆

会議は、子ども会活動の活性化を考えるシンポジウムで締めくくられました。

全国子ども会育成中央会議・研究大会は毎年、開催地の子ども会関係者の皆さんの努力により、情報交換と話し合い、交流の時を持つことができる、子ども会にとって大変重要な機会です。足立区からも継続して参加していくことで、子ども会活動の活性化につながっていくことを期待しています。今回は長崎県です。広島から平和の火が長崎に引き継がれます。



平和の集いの様子

眩しい 笑顔に 包まれて



力強く選手宣誓

少連協主催第一回ドッジビー大会が、二月十一日梅島小学校体育館にて開催されました。野辺少連協会長の挨拶から始まり、来賓挨拶後、子ども達の力強い選手宣誓が行われました。試合開始に先立ちドッジビー協会のデモプレーがありました。体育館が小さく感じられる位のディスクの飛行距離、スローイングの正確さに、一同ひきつけられました。第一回エント



梅島小学校体育館にて開催

リーチーム数は、十五チーム、三ブロックに分かれての総当たり戦が行われました。当日は、一時小雨が降り肌寒い一日でしたが、体育館の中は、子ども達の熱気で熱い試合が繰り広げられました。以下子ども達のインタビューを掲載します。

中学生と対戦、はじめの挨拶をした時、大きいのでびっくりしました。でも頑張ろうと思って、フアイトが涌いたけど、やっぱり負けちゃった、今度は、勝ちたいです。

(小一男児)

大人のチームとやった時、勝てないと思っていたのに勝てたので、すっごくうれしかったです。また

やりたい、今度はもっとじょうずになってくるからね。(小二女児)

まさか中学生や大人と戦うとは思わなかった。四回も試合ができて楽しかった。(小二男児)

当たってもいたくないし、ボールよりなげやすい。ひくくなくても地めんにつかないし、バウンドしないから、足に当たって、アウトがとれてうれしかったです。(小二男児)

(小二男児)

初めての学校だったけどきれいな学校でいいなと思いました。体育館がきれいで気持ち良かったです。一回しか勝てなかったけど、こんどは優勝したいです。おもしろかった。(小二女児)

たくさん練習したけど二勝しかできなくて残念だった。でも他のチームの人達はたくさん練習しているんだなと思った。もっと練習して強くなりたい。(小三男児)

(小二女児)

いつもは、同じ学校の友達と練習しているのに初めて知らない人との対戦にドキドキしました。でも試合中は、一生懸命だったのでドキドキは、忘れていました。優勝まであと一歩だったのでくやしかった。(小三女児)

(小三男児)

私ほとってもドッジビー大会がおもしろかったです。最初対戦したプリプリチームの大人は、とっても強かったです。次の試合は、友達がいるチームと戦いました。私たちが勝ちました。その次の試合のチームは、けっこう強かったです。でも勝ちました。私たちのチームは、優勝しました。うれしかったです。梅島小学校は、とってもごうかな学校でした。

(小四女児)

(小三女児)

思いどおり飛ばなくて、でもそれがおもしろい。中学生チームにだけ負けてしまいリーグ優勝できなかったけど今度は勝ちます。

(小四男児)

中学生チームがとても強いので、びっくりしました。ドッジビー協会の人達もかっこよかったです。そばにいた係りの人が「一生懸命練習すればあの人達みたいになれるから頑張ってね」って励ましてくれました。うれしかったです、ずっと続けようと思いました。

(小四女児)

自分ではパスが上手だし、スピードもあるし、と少しは自信があったけど、中学生にはかなわなかった。くやしかったけどおもしろ



第5地少協チーム



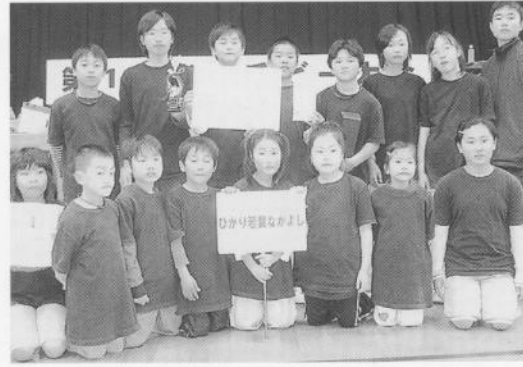
扇(中)チーム

かったので、また出場したいです。
たくさん練習しました。みんなで作戦会議もしました。いざ本番は応援してくれるお母さん達の声で元気が出ました。自分でも力い

(小五男児)



花保Aチーム



ひかり・若葉・なかよしチーム

っぱい戦いました。結果は残念だったけど楽しかった。またやりたいです。
ふつうのドッジボールよりフリスビーでやると当たっても痛くないので良かったけど、フリスビー

(小五女児)

は、思のように真直ぐ飛ばないからドッジボールが良いと思った。第一回大会なのに皆強かったです。初戦は大人チームだったので、勝てるかなって思ったけど、やはり強かった。けど優勝できたので、良かったと思ってます。すごく楽しかった。
ドッジビー大会、初めは勝てるか不安だった。当たったら痛いのかと不安だった。だけど当たっても痛くないし、優勝もできたのでうれしかった。また、やって優勝したいです。
中学生との対戦は、自分でも一番燃えた。でも中学生は強かった。来年僕も中学生、絶対リベンジしたいから練習を続けて次回は、優勝するぞ！

(小五女児)

(小五女児)

(小六男児)

(小六男児)

くやしくやしい！ 気を抜いたわけじゃないけど、あと一歩のところまで負けちゃった。リーグ優勝はできたけど、全勝優勝をのがしちやった。次回は、他のチームも腕を上げてくるだろうからミス
対戦結果(優勝チーム)
Aブロック 扇(中)
Bブロック 第5地少協
Cブロック 花保A
ひかり・若葉・なかよし
花保A
の
ない
戦
い
を
す
る
よ
う
皆
で
話
し
合
っ
た。
に
わ
か
り
の
寄
せ
集
め
チ
ー
ム
で
す
け
ど
、
そ
こ
は
、
日
頃
の
チ
ー
ム
ワ
ー
ク
の
良
い
小
連
協
チ
ー
ム
、
童
心
に
帰
っ
て
嬉
々
と
し
た
表
情
も
束
の
間
、
一
戦
終
わ
る
た
び
に
息
づ
か
い
も
荒
く
、
ベン
チ
に
戻
っ
て
来
る
姿
は
、
痛
々
し
く
も
見
え
ま
し
た
が
、
次
の
対
戦
に
向
か
う
時
に
は
、
完
全
に
立
ち
直
っ
て
、
こ
の
身
の
変
わ
り
よ
う
の
早
さ
、
小
連
協
は
、
永
遠
に
不
滅
で
す。
(観戦者O)

ドッジビーの問い合わせ、注文は、
足立区少年団体連合協議会へ
☎ 03-5242-8169 FAX 03-5242-8165
子ども会特別価格
ディスク1枚 1,575円
10枚セット 13,500円 10% Off
50枚セット 60,000円 20% Off
上記以外別途送料がかかります。

4月1日より青少年が安全にネットを利用できる環境の整備等に関する法律が施行されました。

携帯電話を新規に購入する際、18歳未満が使用する携帯電話に限り強制的にフィルタリング規制が適用されます。しかし、親の同意があれば解除できます。子ども達の多くはなぜフィルタリングを嫌うのでしょうか？ フィルタリングにより子ども達が気軽に掲載・閲覧しているミクシィ・前略 etc のプロフィール・芸能人の日々更新されるブログが、利用できなくなるからです。

プロフィールってなに？

昔、卒業式シーズンになると、プロフィール帳というものがあり、子ども達の間で交換されていたのを覚えている方も多いと思います。現在は、携帯電話を使用し、全国的規模で個人のプロフィールを記入し（すでに質問事項が設定されているので答えるだけ、知られたいくないことは、未記入でも可）、自己紹介ができるのです。現在ヤフーで130万件登録されています。

ブログってなに？

ブログは、ウェブログを省略した言葉で、ネット上の日記・覚書に加え商品のサービスや、宣伝・ビジネスにも使用でき、自分の意見、評論など日々更新することができるサイトです。公開した情報を元に第三者からの共感や立場の異なる意見も届きます。個人ベースの双方向コミュニケーションサイトです。

現在登録数は63万件です。

なぜこれらが危険なの？

子ども達は、ネットに対する危機感が著しく欠如しているためプロフィール等に掲載しても、悪用されることはないと思っています。

しかし、個人情報の提供となるので、悪用される頻度も高いのです。

いじめメール・裏サイトなどの原因を発生しているのも子ども本人です。

こんなプロフィールも存在します

★そっくりさんプロフィール

青少年 ネット規制法施行

★なりすましプロフィール

これらは、既に登録されているサイトに似せて他人が作成しているもの。

似せて掲載した人は、軽い気持ちで記入しているため、犯罪だとは思っていません。また本当に嫌がらせをしようとして掲載をしています。他人になりすましていて、本当は、誰が記入しているのか突き止められず、トラブルが多いものの代表となっています。

★フィッシングサイトに注意

代金無料と謳っている出会い系・ゲームのなかには、しばらくたってから請求がくるものも……子ども達は、親に知られたいくないため解約金を払ってしまいます（最初は、低額のためお小遣いなどで、コンビニで支払う）。この支払いの時点で、アドレス以外に住所、電話番号など相手に個人情報を提供してしまいます。後に自宅などに高額請求が舞い込むことも…。

警視庁によると、平成20年度上半期で携帯電話の出会い系サイトを通じて児童買春などの犯罪被害にあった18歳未満の児童生徒は、350人を上回っています。ネットいじめは、さらに深刻で文科省の調査では、前年より1000件も増えて約5900件に上ったということです。

まず、信頼できる人に相談

きっと子どもは、何かのサインを出しています。

困ったことがあったら一人で悩まず、信頼できる人（専門家）に相談しましょう。

国民生活センター・警視庁・各携帯電話会社の相談窓口など…。

料金設定がパケホだからと安心して、パケットの本来の費用がいくら位かかっているか？ 毎月チェックする親の姿勢も重要です。

パケットの使用金額とそれに費やす時間は、必ず、比例しています。携帯電話所持の子どもは学力低下が言われる由縁です。

今、大人がしなければ…

防犯対策として購入したはずの子どもも携帯がいじめメール・学校裏サイトなど情報モラル教育が徹底されていないため、凶器となりつつある現在、私たち大人が、しっかりと知識を身につけ、子ども達に正しい情報を伝えることが大切です。

利便性を重視し、通話・メールのみに満足している大人ですが、子ども達の好奇心は、一歩も二歩も先を歩んでいきます。

フィルタリングは親の義務

「友達との情報交換ができなくなるからフィルタリング解除して…」と子どもにせがまれたらどうしますか？ 危険を承知で解除しますか？

親としてどう毅然と子どもに対処するか？ 家庭内のルールはしっかり確立していますか？ たまには、子どもの携帯を一緒に見ることをコミュニケーションの一環として行ってもよいでしょう。

家の子は、携帯電話を持っていないから安心…と思っているご家庭の皆さん、いきなり高校生になってから携帯電話を持つのではなく、まずは小・中学生の持っていない今から正しい使い方を話し合うことが大切です。

携帯を所持した子どもは、好奇心から一度は携帯電話にはまっています。そのとき良く考えさせることが大切です。上から「ダメ」と押さえ込んでも、子どもは反発するだけ、子ども達だって意外と自分のことを良く見ているんです。と大田区大森第三中の大山教諭も話しています（『日本の議論』携帯は勉強の敵か 参照）。

こんな文章を書いている私も3人の娘から携帯電話について情報をもらうことが多いのです。ネットを通じて被害者にも加害者にもならないことを日々祈っています。

主催団体 責任者 行事名称 開催日 会場 目的 参加対象 特記 参加者	足立区第十四地区少年団体協議会 元井 一壽 第14地少協大運動会 平成20年5月10日(土) 足立区立伊興小学校 校庭 子どもを対象に健康な体及び精神を身に付けさせる。地域協力者が同じ目的のもと活躍する場所を作る。 第14地区内子ども会・育成会・地域協力者育成会・保護者(150名)、地域の協力者(先生・PTA・青少年委員・体育指導員・地区対役員・中学生ボランティア・ジュニアリーダー100名)の協力を得て、午後の天候が心配なのでプログラムを変更し午前中で閉会した。 700名	主催団体 責任者 行事名称 開催日 会場 目的 参加対象 特記 参加者	中川地区少年団体協議会 小久保 隆 中川地区大運動会(第12地区) 平成20年10月26日(日) 足立区立大谷田小学校 校庭 学校が違って同じ行事に参加することで親睦を深め、地域の人達にも協力をしていただく。 中川地区在住の幼稚園児から大人まで競技内容は幼稚園児からお年寄りまで参加できるプログラム構成とし、盛大に実施できた。新しくできた自治会・子ども会の参加もあり、次年度は地少協に参加するきっかけとなる行事になった。 延べ1000名
主催団体 責任者 行事名称 開催日 会場 目的 参加対象 特記 参加者	新田地区少年団体協議会 大庫 悦子 新田地少協大運動会 平成20年4月29日(火) 足立区立新田小学校 校庭 小学生から中学生まで広く交流して異年齢交流を計る。ジュニアリーダーの育成を計る。 子ども会及び保護者、新田地区の小中学生 新田地区の小中学生・中学生から保護者を含めて、500名の参加となり、ジュニアリーダーを中心に運営した。 500名	主催団体 責任者 行事名称 開催日 会場 目的 参加対象 特記 参加者	花保地区少年団体協議会 大山 光子 春の“がきのり”まつり(地域運動会・文化祭) 平成21年3月20日(金) 足立区立花保中学校 体育館・校庭 地域ジュニアの自主的な経験の場として、“がきのり”子どもフォーラムの地域運動会版。 JL研修修了生・地域ジュニア・育成者・子ども会員 パン食い競争・仮装タイム・買い物競争・綱引き・ドッチビーなど。 250名
主催団体 責任者 行事名称 開催日 会場 目的 参加対象 特記 参加者	足立区江南地区少年団体協議会 今井 喜代 サマーキャンプin鹿沼 2008 平成20年8月9日(土)~10日(日) 鹿沼野外レクリエーションセンター 地域の子どもの健全育成とジュニアリーダーの実践研修を図る。 小学生・地少協役員・ジュニアリーダー・来賓 野外飯盒炊飯・キャンプファイヤー・追跡ハイキング・川遊び・クラフトを実施した。 44名	主催団体 責任者 行事名称 開催日 会場 目的 参加対象 特記 参加者	足立区第四地区少年団体協議会 五味潤 彰 ビーチボールバレー大会 平成20年6月29日(日) 足立区千寿第五小学校 体育館 子どもたちの交流・活動により地域と連携して行事を通し安全で活気ある地域にしておくため。 小学生4~6年 男女・育成者 試合はトーナメント方式で小学校4~6年生の男女。午後は、育成者大会を実施した。 142名
主催団体 責任者 行事名称 開催日 会場 目的 参加対象 特記 参加者	足立区栗島地区少年団体協議会 芝田 宏子 防災水泳訓練 平成20年8月8日(金) 中央本町プール 水遊びの危険と楽しさを学ばせると共に危機に対応する応急的な手段を教える。 栗島地域子ども会員 スーパーの袋を簡易浮き輪として、浮く練習。 78名	平成21年度「がんばる地少協」助成団体 第四地区少年団体協議会 第十三地区少年団体協議会 中川地区少年団体協議会 第五地区少年団体協議会 浦原地区少年団体協議会 新田地区少年団体協議会 第十地区少年団体協議会 第七地区少年団体協議会 第十四地区少年団体協議会 扇地区少年団体協議会 洲江地区少年団体協議会 以上11団体	

平成20年度「がんばる地少協」事業報告

第二回
地域ジュニア交流会

年度末最後の土曜日に「地域ジュニア研修・交流会」を開催しています。体験型研修あり、ビンゴ交流あり、おしゃべり交流も…。スーパード研修会の研修プログラムの中で「お楽しみ会の企画をたてる」ということで企画の立て方、当日の会の運営の仕方を経験しながら、各地域で活躍している地域ジュニアリーダーの交流を兼ねての交流会です。とても、さわやかに足立区内の地域の特徴ある活動をしているジュニアリーダーの交流会がスタートを切りました。昨年は江南・新田の両ジュニアの地域での研修と同日になり、また今年には舎人ライナーの一周年記念行事や青井の住区センターの行事と重なり、足立区内全域のジュニアが集まることができましたでしたが、これからも継続し、足立区少年団体連合協議会が育てたジュニアリーダーの結集の場に広がっていくことができると考えています。企画の応援は青年リーダー・教育委員会・少連協育成部です。本年度は三月二十八日に開催し、

少連協会長をはじめ多くの地域ジュニア・育成部員・青年リーダーと共に「みんなでゲーム大会」をしました。楽しかったです。

スケート大会

第十五地区少年団体協議会
会長 長島 通

第十五地少協のイベントとして、毎年十二月の第二日曜日にスケート大会を実施していますが、昨年(平成二十年)で第十五回目を迎えました。近年は、スケート場も少なくなり、現在は明治神宮スケート場を利用しています。以前は千葉県の松戸にもあり、何年かは利用したこともあります。

参加者としては、七町会の子ども会、育成会から子ども、保護者、役員合わせて毎年百名程度です。保護者で上手な方には子どももの指導をしていただいています。大半はリンクの壁や手摺りに世話になりながら、一周するのに何回も転んでいます。転んでも転んでも必死に滑ろうと、あきらめないで頑張っている姿を見ると「ヨシ、ヨシ頑張れ！」まだまだ将来明るいなどと思われホッと一瞬です。

火の用心! 第八地少協 (加賀子ども会)



火の用心パトロール

春、秋の防火週間に合わせて、夜7時から町内を「火の用心、タバコ1本火事のもと、あとでより今が大切、火のしまつ! 戸じまり用心、火の用心」と大きな声と拍子木をたたきながら廻り、防火の呼びかけを行っている。20年ぐらい前に一部の子どもが自発的にはじめたことが今に受けつがれている。ガンバレ!

編集後記

大人が、酒やタバコをなかなかやめられないように、子どもの携帯電話も、一度楽しさを覚えたらやめられないようだ。物事には二面性があり、個々の人間性に関わ

っていく。親の保護のもとにいる子どもにすべてを任せるのではなく、決定権は親が握ってほしい。

いずれ、子ども達も成長し、智恵も付いてくるのだから……。

(小野田)